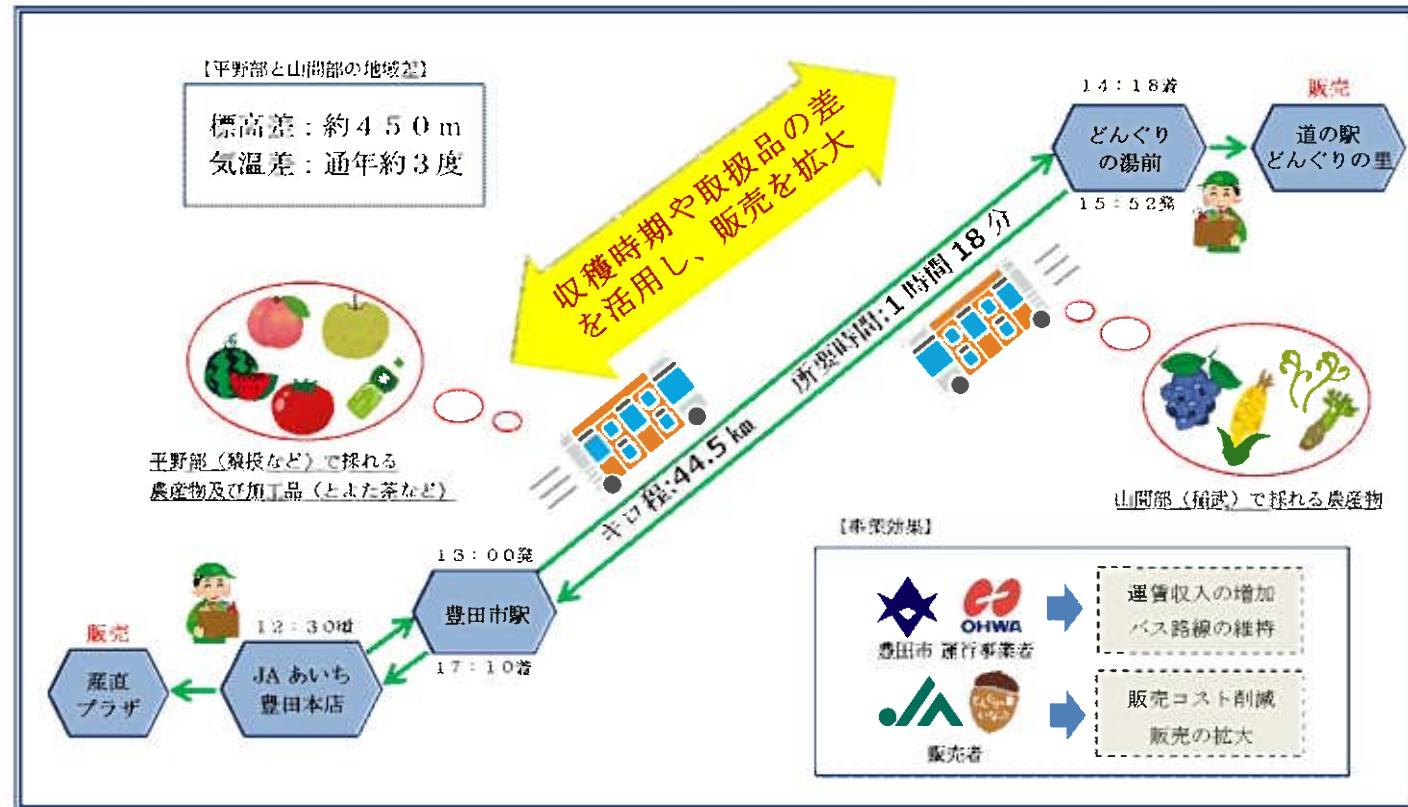


報告案件（４）快速いなぶを活用した農産物の貨客混載実証実験の評価

1 実証実験の概要

- （１）実証期間：平成３０年１１月９日（金）～平成３１年３月３１日（日）【約５か月間】
- （２）実施路線：とよたおいでんバス稲武・足助線「快速いなぶ」
- （３）協力企業：あいち豊田農業協同組合、株式会社どんぐりの里いなぶ、株式会社オーフ
- （４）実施方法：原則毎週金曜日実施（出荷の有無により実施しない日あり）
- （５）輸送費用：あいち豊田農業協同組合、株式会社どんぐりの里いなぶが負担

【イメージ図】



2 実施回数

	予定日数	実施日数
11月	4	3
12月	4	1
1月	2	0

※ 1月11日現在までの実績

○ 全て JA あいち⇒どんぐりの里いなぶの実績

○ 混載した物：梨、白菜、チンゲン菜、加工品（寒天、羊羹）

3 関係者ヒアリング

●株式会社オーフ

【課題】安全面、バス利用者の不便等の課題はない。

●あいち豊田農業協同組合

【課題】輸送面での課題はない。稲武地区への輸送回数は、市内全体の生産状況やどんぐりの里の集客状況に影響される。

●株式会社どんぐりの里いなぶ

【課題】平地の産直プラザへの出荷は初となるため現在販売品目等を検討中である。冬季は全体的に農産物が少ない。

⇒山菜等山間部特有の農産物が収穫できる時期になれば積極的に復路についても実施を検討

4 評価

評価項目	評価	備考
実施状況	△	農産物の生産状況や市場動向などの外的要因(※)に左右されたが、一定回数の実施ができた。今後 JA あいちとどんぐりの里いなぶが混載物の協議を行い、さらなる活用を図る。
安全性	○	荷物を混載するためのラックに不具合もなく、安全運行に支障は出なかった。
利用者への影響	○	・ 13:00 豊田市発の便の平均乗車人数 1.4人 ・ 15:52 どんぐりの湯前発の便の平均乗車人数 0.7人 運行に用いているバスは座席数が11席のため、ラック設置により座席が1席分利用できなくなるが、平均乗車人数をみると乗客への影響が少ない。なお、ラックは実施日のみ設置している。

※道の駅どんぐりの里の改装工事、気候の関係で山間部と平野部で収穫の時期の差が生まれなかった、市内の野菜収穫が全体的に豊作であった等。

○評価のまとめ

関係者間では本取組に対する否定的な意見は出ておらず、継続実施に前向きな姿勢を示している。貨客混載を行う便の平均乗車人数をみるとラック設置により座席に座れない状況が発生することは想定されず、また、市及び運行事業者へ市民等からの要望・意見が届いていないことから荷物を混載させることに対する利用者への影響はないといえる。

今後、販売者間の協議を行うことで混載する農産物等を検討しながら、本格運用として継続実施していく予定である（平成３１年４月５日）。